

NISHIOTSU INT'L NEWS

ISSUED IN FEBRUARY

シャコピー高校 短期留学プログラム

このプログラムには、校内選考に合格した6名の生徒が参加しています。R5年4月末の渡米を控え、毎週火曜日の放課後に学習会に参加しています。



学習会の様子

学習会担当 坪内先生より

コロナ禍で中断していたシャコピー高校短期留学プログラムが4年ぶりに再開します。4月の出発に向けて、学習会を週1回のペースで行っています。もちろん授業は全て英語で行われますが、スキット練習やプレゼンテーションからパーティーまで、楽しくかつ厳しく英語を学んでいます。アメリカでの2週間の生活を想像しながら、アメリカ人であるエバリン先生との授業を楽しんでいます。また7月には、シャコピー高校生が西乙訓高校に4年ぶりに来校します。是非楽しみにしててください。

グローバルネットワーク ーく京都交流会

2年国際特進コース文系担当：坪内先生、青田先生

グローバルネットワーク京都交流会において、2年国際特進コースの「プラクティカル・イングリッシュ」の授業の取り組みの中で最も優れたグループが英語のプレゼンテーションを行いました。賞を取ることにはできませんでしたが、英語での質疑応答などもそつなくこなし、堂々と発表することができました。テーマはSDGsのひとつである「質の高い教育」です。子どもたちが教育を受けられるように、募金など自分ができることをやればいいという提言を行いました。

2年国際教養コース担当：岸本先生

2年国際教養コースから2名が、グローバルネットワーク京都交流会において、「総合的な探究の時間」で作成した作品を使ってポスターセッションを行いました。「コロナがもたらす健康と福祉への影響」の発表では、新型コロナウイルスの急拡大により、ワクチン不足や雇用不安や育児負担の増加におびえる若者や女性に自らの力を発揮できる場を提供することを提言し、「差別と闘うシア・コリン」の発表では、人種差別や国民の分断や貧富の格差のない世界への変革を提言しました。



第1学年国際講演会



1月18日（水）に、第1学年生徒を対象として国際講演会を開催しました。今年度は中国出身の講師の先生から、出身国の言語・文化、熱心に取り組んでおられる活動についてお話を伺いました。

（生徒の感想）

- ◆中国は国が広い分地域によって文化や言語が違い、とても興味深く、もっと知りたいと思いました。中国語にかぎらず、外国語を1つでもマスターしたいと思いました。
- ◆中国語の練習をしたときに、特に発音が難しいなと思いました。
- ◆中国の学校は、私の中ではゆるいイメージだったのですが、1日の時間割が12時間目までであると知ってとても驚きました！日本の学校の方が自由な時間が多いのだと実感しました。
- ◆中国の街は、現代風な街並みだけでなく雰囲気があり、それがいいなと思いました。世界遺産に登録されている湖が、言葉に表せないほどきれいで驚きました。
- ◆講師の先生は、多くの地域での活動に参加されていて、自分の国ではないところで活動するのは大変だろうと思った。けれど、たくさんの発見があって面白そうだと感じました。私も将来そのような活動をしてみたいと思いました。